

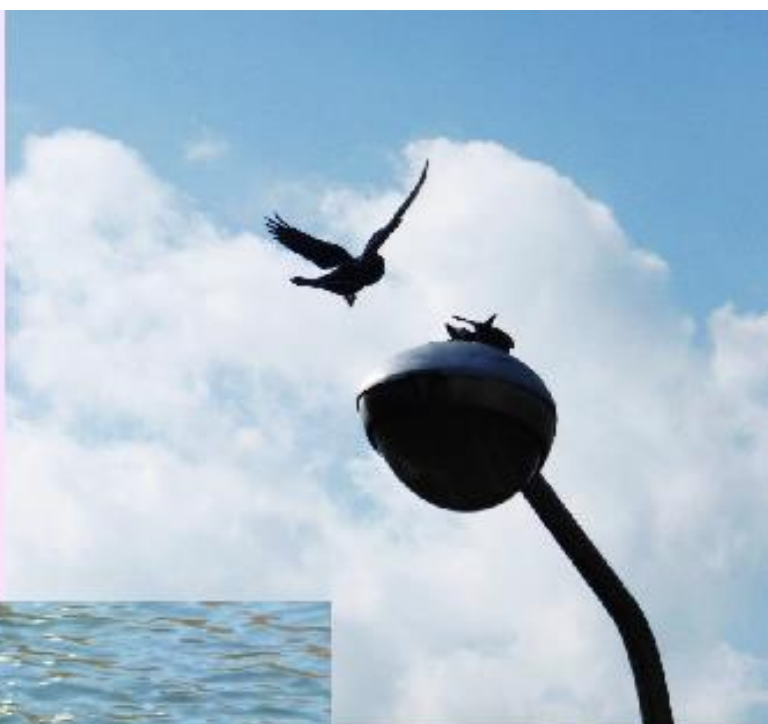
特集

P 2~3 **探そう!**
まちの中の鳥

P 4~5 **ふくろ**

P 6 3つのリサイクル

P 7 エコに恋して



カワラバト



キンクロハジロ ヒドリガモ



メジロ

あけようエコの扉

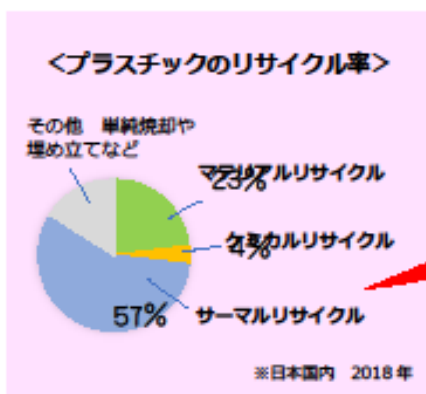
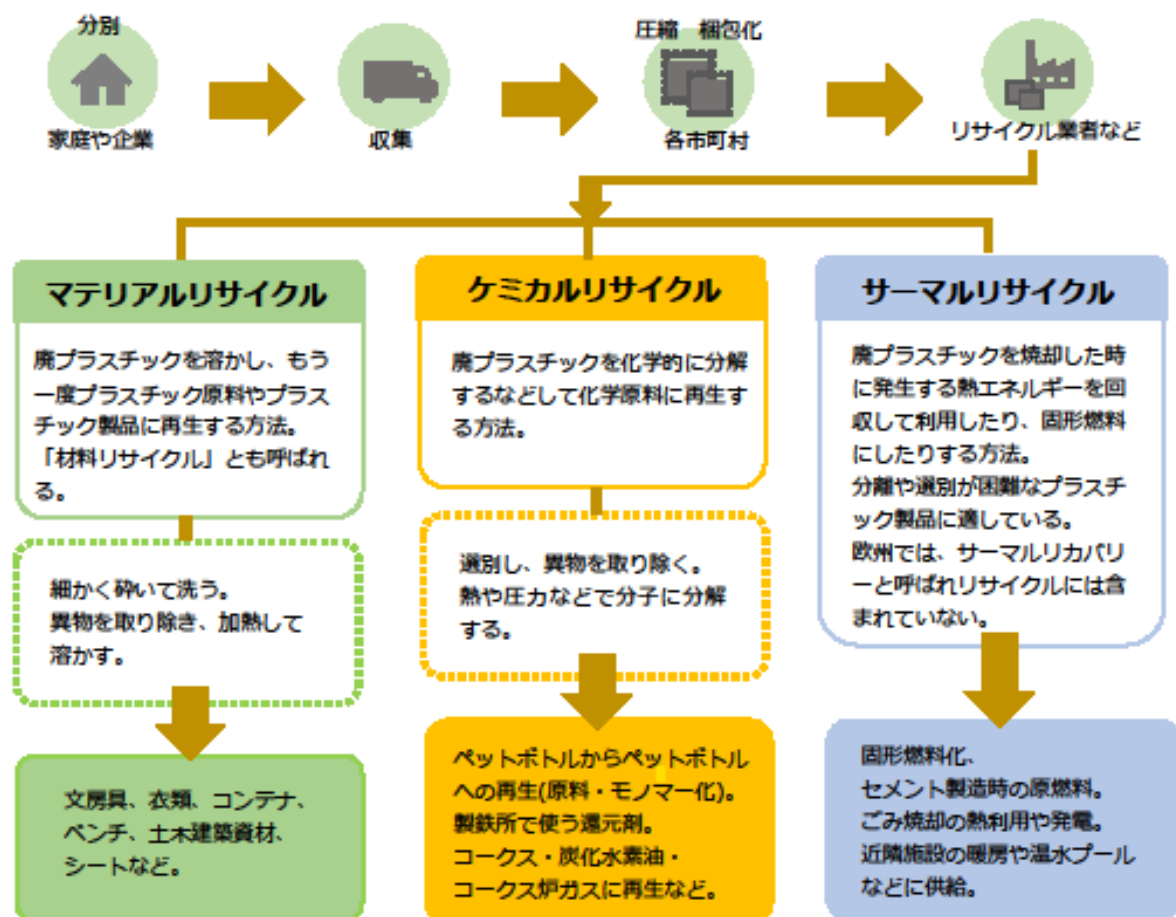
くるくるプラザ

86
2020.3



3つのリサイクル

資源として収集された廃プラスチック(プラスチックごみ)は、どんな方法でリサイクルされているか知っていますか？
実は、3つの方法でリサイクルされています。



日本のプラスチックリサイクル率は84%と高水準！
ただそのほとんどはサーマルリサイクルで、燃料として焼却されています。

これはまさにマテリアルリサイクルだね！



リサイクル(Recycle)はエコではありますが、環境に配慮しごみをなくすためのキーワード「3R」の優先順位では、リデュース(Reduce)、リユース(Reuse)に続く3番目となっています。世界中でプラスチックごみが増え続け、問題になっている現在、「3つのリサイクル」の方法を改めて考えながら、3Rにもうひとつの「R」不要な包装などを断る＝ごみになるものを受け取らない「リフューズ(Refuse)」を追加し実践してみることも大切かもしれません。

参考文献：一般法人プラスチック環境利用協会 「プラスチックとリサイクル8つの「？」」
「2018年プラスチック製品の生産・廃棄・再資源化・処理処分状況」



ヨシガモ♀

オオバン

アメリカヒドリ

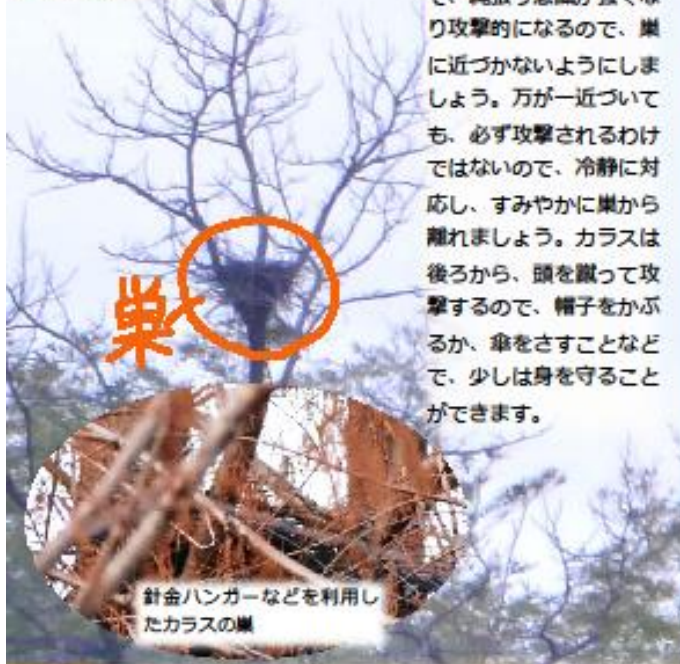
ヒドリガモ

ヨシガモ♂

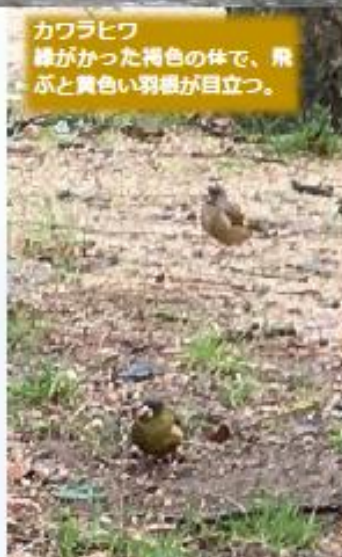


Q.「カラスにご注意 ください。」どうしたら いいの？

A.カラスは4月下旬から ヒナが巣立つ 6 月頃ま で、縄張り意識が強くなり 攻撃的になるので、巣 に近づかないようにしま しょう。万が一近づいて も、必ず攻撃されるわけ ではないので、冷静に対 応し、すみやかに巣から 離れましょう。カラスは 後ろから、頭を蹴って攻 撃するので、帽子をかぶ るか、傘をさすことなど で、少しは身を守ること ができます。



針金ハンガーなどを利用し たカラスの巣



カワラヒツ 緑がかった褐色の体で、飛 ぶと黄色い羽根が目立つ。



オオバン 全身黒く顔と くちばしが白い。



アオサギ 青黒色の長い冠羽 がある。



ジョウビタキ 大阪では冬に公園や民家の 庭などにやってくる。

掃き溜めにアオサギ...



写真のアオサギのまわりにはたくさんのごみがあります。池に浮いているビニール片をつついて いる水鳥もいました。鳥や他の生き物の生態系を壊さないように、ごみのポイ捨てや、身勝手に餌づけなどを しないようにしたいと思いま す。身近な所に鳥はあまりいない、と思っていましたが、気にかけていると気づく機会が増え ました。知らなかった鳥を調べて、名前がわかると楽しいです。

イカル 大阪では秋から冬に 見ることができる。



ふくろ

2020年7月からスーパーやコンビニなど各小売店のレジ袋が有料化されます。このレジ袋、軽くてごみ袋にも利用できて便利なのですが、プラスチックごみ削減のためには私たちの意識改革も必要なこと。そこで今回は身近な物を利用して袋にする方法をご紹介します。

チラシで折る袋

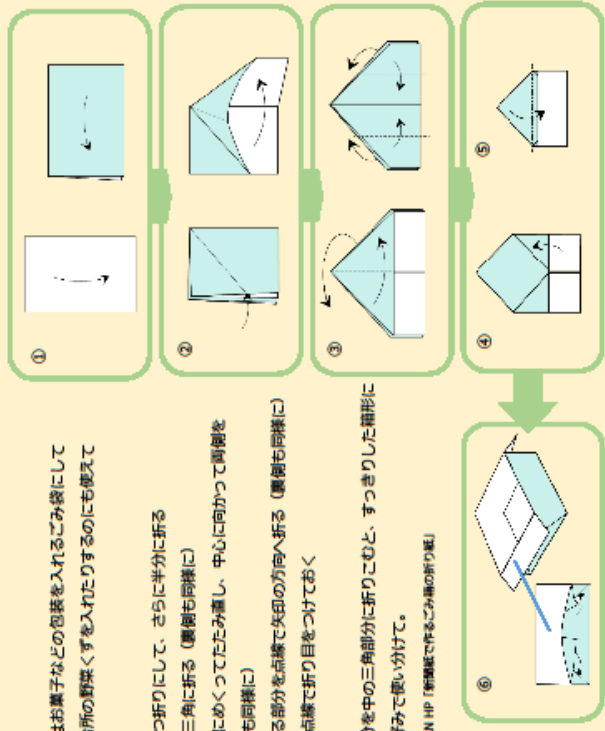
子どもが小さい頃はお菓子などの包装を入れるごみ袋にしていました。これはお所の野菜くずを入れたりするのに使えてなかなか便利です。

- ① チラシを二つ折りにして、さらに半分に折る
- ② 袋を開いて三角に折る (裏側も同様)
- ③ 矢印の方向にくっつけてたたみ直し、中心に向かって両側を折る (裏側も同様)
- ④ 持ち手になる部分を点線で矢印の方向へ折る (裏側も同様)
- ⑤ 底の部分を点線で折り目をつけておく
- ⑥ 広げて完成

持ち手の裏部分を中の三角部分に折りこむと、すっきりした箱形になります。お好みで使い分けて。

参考：折り紙 JAPAN HP (新聞紙で作るごみ袋の折り紙)

折る



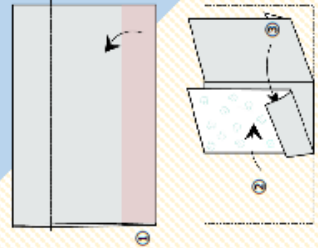
新聞紙で折る袋

野菜をこれに入れて冷蔵庫に入れると長時間持ち持ち、野菜の劣化防止にもなります。

- ① 見開き新聞紙を2枚重ねて、下側1/4を横に折る
- ② 裏に返して、1/3を縦に折る
- ③ 残りの1/3を折り、先に折った端に差し込む
- ④ 裏返して上の部分を三角になるように折る
- ⑤ 三角の部分をポケットに差し込みのように入れて完成

見開き新聞紙1枚を半分に折って同様に折ると小さい袋ができます。

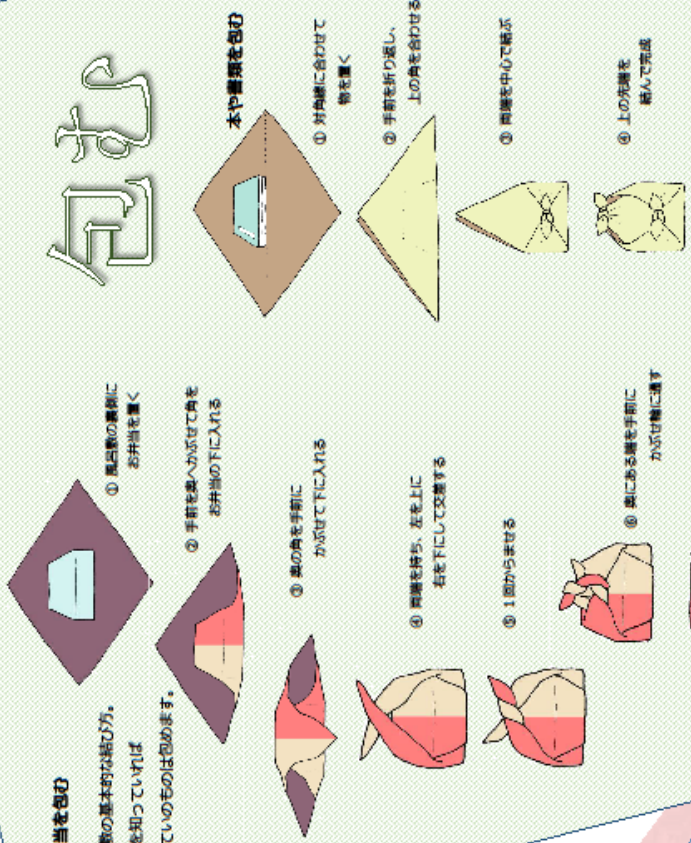
参考：プラ暮らし生活 (easplastidlife.com)



包む

お弁当を包む

風呂敷の基本的な結び方。これを知っていれば、たいいものは包めます。



本や書類を包む

- ① 封筒に包む物を入れて
- ② 封筒を開き、上側の角を合わせる
- ③ 封筒を折り返し、上側の角を合わせる
- ④ 封筒を折り返し、上側の角を合わせる
- ⑤ 封筒を折り返し、上側の角を合わせる
- ⑥ 封筒を折り返し、上側の角を合わせる
- ⑦ 封筒を折り返し、上側の角を合わせる

作る

着古したTシャツや傘の生地から袋を作れます。思い入れがあって捨てられない服や着物なども形を変えて活用することができます。手作りの人は布工房へどうぞ！ショッピングエリアでもエコバッグが買えますよ。気軽に試してみてください。

お買い物をするのに、レジ袋やエコバッグでなくては...ということもありません。まずは手持ちの袋やかごなどを工夫して使ってみてはいかがでしょうか。



各地で作ったエコバッグ

探そう！ まちの中の鳥

まちの中にはどんな鳥がいるかな？近所の公園に渡り鳥が来ていると聞いて見えました。

はじめはたくさんの水鳥がいる、くらいしかわかりませんでした。見ているうちに、えさを探してもくったり、いろいろな声で鳴いていたり、のんびりしているようで、意外な速さで泳いでいたり…この鳥たちは生きるために活動しているんだなと実感しました。自然にいる鳥をこんなに、じっくり眺めたのは初めてかもしれません。レアな渡り鳥が来ることもあるそうで、大きなカメラを構えている人もたくさんいました。

アカエリカイツブリ

警戒になると首が赤くなる。日本では北海道などで繁殖し、大阪で見ることができるのは珍しい。

アメリカヒドリ
日本で見られることは珍しい鳥だが、大阪では少数確認されている。

変わった鳥を見ることができたら楽しいですが、傷ついたり、何か訳があっていつもは来ないところに来ていることもあるそうです。そっと見守りたいですね。

キジバト（ヤマバト）

1970年頃から山だけでなく市街地でも見られるようになった。



カワラバト（ドバト）
レース用などに古くから持ち込まれ、定着している。

Q.きれいな声で鳴いているけれど姿はわからない。鳥の名前が知りたいな。

A.スマホに鳥を検索できるアプリがあり、鳥の鳴き声で探すこともできます。季節や時間、鳴き方の特徴などで条件を絞って、候補を出してくれます。実際に声を聞いて確認もできておもしろいです。

メジロ

動きが活発、目の周りが白い。



ハクセキレイ
尻尾を上下させて歩く。

イソヒヨドリ
海岸近くで見られる鳥だったが、高い建物を崖に見立て都市部でも見られるようになった。



エコに恋して

いらなくなったり着られなくなったりした服は、そのままポイと燃えるごみの日に捨てる、ではなくて、リユースあるいはリサイクルに出して、もう一度役立たせてもらうのがエコ流ですね。でもやり方がいまいちよく分からなくて、めんどくさいから「やっぱりごめんなさい、燃えるごみに…」ってなってしまうかもしれません（ほくもそうだったし…）。今時の服のリユース方法について、調べてみたのでご紹介します！

広まる衣服のリユース

おうちでの衣服のリユースの定番といたら「お下がり」でしょうか。そして着られなくなったシャツなどは窓ふきや雑巾などに、またはリメイクしてかばんや壁掛けの小物入れに…といろいろ役立たせることができます。

ほくはそんなに器用ではなくて、リユースしてくれる誰かをすぐに見つけたり、さっと他のものにつくり変えたりというのがなかなかできません…。

でも今は気軽にエコが実行できる時代。市役所や図書館など、いろんなところにある公共施設や一部の大手衣料店に衣類の回収ボックスが設置されているほか、自治体によっては衣服など布類を資源として収集している場合も、これなら気軽に役立たせることができそうです。



公共施設にある衣類ボックスは便利

下取りや引き取りでお得になることも



ショッピングエリアのリユース服

そしてもう一歩踏み出して、フリーマーケットやオークションに出してリユースしてもらうという方法もあります（多少の交渉が必要となってきます）。ネットでもできますし、くるくるプラザのショッピングエリアを使ってみるのもいいですね。

さらに紳士服のお店ではスーツを買い替える時に下取りして費用に充ててもらえるところが多いほか、ほくが見たのでは衣料品メーカーと百貨店が協力して、いらなくなった衣服1着ごとに約1000円の割引券をくれるという催しがありました。いらないものをあげただけで得するのはうれしいですね。

リユースしてもいいですが、気にならない程度の汚れや破れだったら、できれば使い続けるようにしたいものです（「ヴィンテージ」って言葉もありますし…）。そして「もう無理、これ着て外に出たら恥ずかしい」と思った時には、リユースに出してもおとがめはないでしょう。そんな時でも「ずっと使い続けられなくてごめんね」という気持ちを忘れないようにしたいものです。

衣服は何十年も着続けることが難しく、いつか手放さないとはいけません。だからこそ積極的にリユースに出して、「第二の『服』生」を与えてあげられたらいいなあと思っています。



くるくるプラザで できること

見学・体験

- 市民工房体験
- 施設見学/工場見学
- 実践教室

各種イベント

- フリーマーケット
- ごみゼロウォーク
- かえっこバザール 等

学び・発見

- 環境出前講座
- 講演会

活用

- 貸室
- リユース食器
- ショッピングエリア



木工所



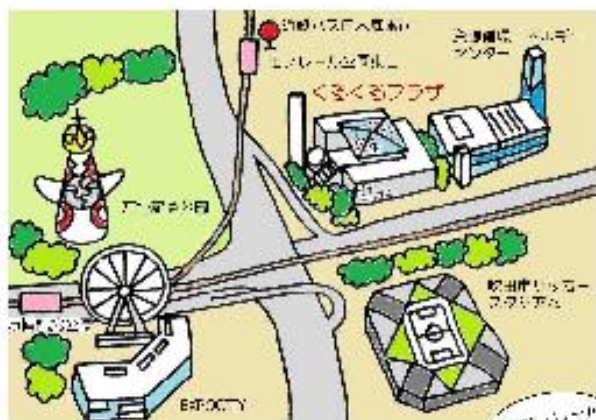
実践教室 陶芸



自転車工房

募集

- くるくるサポーター
 - 情報紙編集スタッフ
 - 市民研究員
 - くるくる環境スクール受講生（4月開校）
- ※募集状況や詳細はHPまたはお電話でお問合せください。
※情報紙「くるくるプラザ」のご意見ご感想をお寄せください。
E-mail: info@senri-recycleplaza.or.jp



編集・発行 公益財団法人・千里リサイクルプラザ



わたしから

〒565-0826 吹田市千里万博公園4番3号
吹田市資源リサイクルセンター内
TEL 06-6877-5300
FAX 06-6876-0530
<http://www.kurukuru-plaza.jp/>
<http://www.senri-recycleplaza.or.jp>

- 開館日 火曜日～日曜日 午前9時～午後5時
- 休館日 月曜日・祝日・年末年始
月曜日が祝日の時は火曜日も休館



愛と環境の日々



編集後記

家の台拭き(ふきん)が5年間使い続けて今にも半分に分けてそんな感じです。さすがにこれはリユースできないと思うので、天寿を全うさせてあげようと思いつ、拭くと時々出てくる繊維くずを見ながら、いまだ使い続けています…。

(天野徳隆)

鳥の姿を探して住宅街を歩き回りました。住民の方から不審者だと思われていたら申し訳ありません。その割にうまく撮ることができなくて鳥好きなお子様、他のスタッフに協力いただきました。貴重な写真ありがとうございました。

(押賀美穂)